



黒木っ子 黒木魂

Kuroki elementary school

薩摩川内市立黒木小学校

R 6. 3.

ありがとう、心のふるさと黒木小学校！

第50代 校長 平山 淳郎

いよいよ147年の歴史に幕を下ろす時が来ました。本校は、地域の皆様の熱い思いと御支援に支えられ、長い間、黒木地域の教育、文化、スポーツの振興や青少年の健全育成等の拠点として重要な役割を担うとともに、昭和22年の学制改革以降、1743人の卒業生が巣立ち、県内外、国内外で活躍する多くの人材も輩出してまいりました。永年にわたり積み上げてきたこれらの功績や存在感は、閉校後も地域の皆様の記憶の中で生きていくことと思います。また、「黒木小だからこそできる一人一人を大切にす教育の推進～小規模校のよさや強みを生かした魅力ある学校づくり～」をキャッチフレーズに、戦略的で実効性のある教育活動の工夫を通して、学力向上、体力向上、地域学校協働活動の推進など幅広い分野において成果を上げてきました。ここ数年、諸学力検査では全国や県の数値を上回り、県教育委員会の推進している「体力アップ！チャレンジかごしま」においては、毎年のように好成績を収め、学校賞の常連となりました。

さらに、地域学校協働活動の核として令和3年度に立ち上げた「寺子屋黒木塾」は、黒木の子供たちの地域における学びの場・体験の場を作り出したばかりでなく、地域活性化や人材育成にも寄与したという実績が認められ、「優れた地域塾」として県知事表彰を受けました。そして、これらの取組や成果については、各種県大会や九州大会、文科省の月刊誌等を通じて、幾度となく発信する機会もいただきました。このように、薩摩川内一の小規模校となり、閉校を間近に控えている本校ですが、有終の美を飾るかの如く今も力強い輝きを放ち続けています。歴代の校長先生方はじめ諸先生方の教育に対する熱意と保護者・地域の皆様の教育活動への御理解・御支援に深く感謝申し上げますとともに、黒木小学校に関係され、ご支援いただきましたすべての皆様に心より感謝の意を表します。皆様の心のふるさととして黒木小学校がいつまでも語り継がれますことを願い、そして、皆様の御多幸、御発展を心より御祈念申し上げ閉校にあたっての御挨拶とさせていただきます。

「ゴールは、新たなスタートのはじまりです。」

♥ 祝！今年度も学校賞受賞～体力アップ！チャレンジ鹿児島～

【申告記録と年間ランキング（○内数字）】※3・4年は4年の部、5・6年は6年の部に申告

	レッツ短縄跳び	馬跳びピョン×3	二人でさっ×2	のばしてコロコロ
3・4年	⑤196.4回	⑥23.0回	—23.0回	②23.0回
5・6年	④203.4回	⑧26.1回	⑦27.0回	①42.9回



申告した8部門中7部門が年間ランキング入りし、今年度も学校賞を受賞しました。3・4年生の「二人でさっ×2」は惜しくもベスト10に届きませんでした。本校では、体力向上、運動習慣育成におけるめざす子供の姿を共有することや一人一人の子供の小さな伸びや変容が見えるようにすること、実感できるようにすることに力を注いでいます。祁答院小でも反復・継続する体力づくり、数値を効果的に活用する体力づくりを継続してほしいものです。



祁答院4小学校交流会

2月6日(火)に祁答院4小学校交流会が、大裏小でありました。午前は3・4年生が、午後は5年生が参加しました。3年生は、まず初めに学校探検をしました。トイレの場所や各教室の様子、運動場の様子等を見て回りました。その後は、体育館でレクリエーションをしてお互いの親睦を深めました。国語の授業もチーム対抗のゲーム形式で楽しく過ごすことができました。4年生は、算数の授業を安田先生が行いました。4年生2人ともグループ内で発言し、よく理解することができていました。5年生は社会の授業でした。隣の友達と積極的に話し、交流を深めていました。4月から祁答院小学校でクラスメイトとして毎日一緒に学びます。よろしくお願いします。



なわとび大会

2月10日土曜日に「校内なわとび大会」を行いました。子供たちはそれぞれ、2種目得意な跳び方を事前を選び、練習を積み重ねてきました。1分間で何回連続跳べるのか、この日も記録更新に燃えていました。6年生の高柳君の二重跳び連続135回や村田さんのはやぶさ連続43回など素晴らしい新記録が生まれました。

ペットボトルキャップ贈呈

2月15日(木)にペットボトルキャップ贈呈を行いました。これは、ボランティア活動の一環で、1年を通して、家庭でいらなくなったペットボトルのキャップをJRC委員会の児童が集めて寄付する取組です。この日までに集めたペットボトルキャップ15500個を薩摩川内市社会福祉協議会に贈呈しました。困っている人たちのワクチン接種等に活用していただけると有り難いです。



祁答院小学校校歌歌唱指導

2月16日(金)2校時に祁答院小学校校歌歌唱指導を純心大学の遠藤教授に行ってくださいました。令和6年度に開校する祁答院小学校の校歌は、小学校再編協議会で歌詞を作成し、遠藤教授に曲を付けていただいたものです。子供たちは事前に練習していたので、リズムよく歌うことができていました。遠藤教授にも褒められました。黒木小学校の校歌も忘れずに、祁答院小学校の校歌もこれからさらに練習していきます。

半成人式

2月22日(木)5校時に3・4年生が半成人式を行いました。半成人式は、10歳になる4年生が、これまで育ててくれた親に感謝するとともに、これからの生き方や将来の夢について確認し、発表する場です。3年生が司会進行をしながら、2人の4年生がそれぞれの夢を発表したり、親へ感謝の手紙を読んだりしました。最後には、歌を歌って花束を贈りました。



6年生を送る会・お別れ遠足



3月1日(金)に「6年生を送る会」を行いました。今日から3月。6年生と一緒にせいかつするのもあとわずかです。司会進行は5年生が担当しました。各学年の出し物やゲームで盛り上がりました。6年生は、2人でピアノと小太鼓のセッションで演奏して、みんなへ歌をプレゼントしてくれました。楽しい雰囲気、みんなの6年生への思いが伝わってくる会になりました。また、お別れ遠足では、祁答院グラウンドへ移動し、ティーボール大会をしたりお弁当を食べたりしました。黒木小最後の遠足は、天気も良く、汗をかくほどの気候でした。

グラウンドゴルフ大会

3月9日(土)に毎年恒例の「高齢者とのグラウンドゴルフ大会」を行いました。全児童12名と高齢者クラブ19名、職員4名でチームを組んで行いました。天候にも恵まれ、交流を楽しみながらの珍プレー好プレー&ホールインワンの連続でした。学校は閉校となりますが、来年度からは、子供会と高齢者クラブのタイアップなど、違う形で続けていってほしいと思います。



おかげさまで3月16日(土)に無事、閉校式を終えることができました。いよいよ黒木小学校147年の歴史が終わります。これまでの本校の教育活動へのご理解・ご支援に感謝申し上げます。今後も黒木地区に住む子供たちへのご指導をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。 完